

オ. 大阪市保健所感染症対策課

資料「平成 24 年 4 月～25 年 6 月大阪市のエイズ対策の評価について」、「我が国における H I V 感染の状況について(平成 24 年)」、「大阪市における H I V 感染の状況について(平成 24 年)」、「保健福祉センターにおける H I V 検査推移」、「妊婦健康診査における H I V 抗体検査について」、「平成 24 年保健福祉センターにおける H I V 検査陽性率」、「平成 24 年度「chot CAST なんば」における曜日別陽性率」、「厚生労働省科学研究事業「検査を受ける人を対象としたアンケート」結果」、「大学生を対象とした H I V/エイズに関するアンケート調査結果」、「障がい児・者施設職員を対象とした H I V/エイズに関するアンケート調査結果」、「老人保健福祉施設職員を対象とした H I V/エイズに関するアンケート調査結果」、「大阪市身体障害者手帳(免疫機能障害)交付数」参照

(ア) エイズ患者報告数についての評価

【質疑応答】なし

(イ) HIV 検査受検者数についての評価

【質疑応答】

- ・受検した MSM の推計人数は多いのではないか。
○保健福祉センターにおけるアンケート回収率が低く、MSM 割合が高いことから、MSM が多く回答している可能性があるかと認識している。回収率の向上に働きかけたい。

(ウ) 対策ごとの評価

A 正しい知識の普及啓発

資料 10 「H I V/エイズに関する健康教育実施状況」参照

6 企業にアプローチしたが、現在 1 企業のみ介入に留まっている。

他都市等との共同エイズ予防啓発事業としてエイズ予防週間講演会を行ったが、243 人の申し込みに対して参加者は 137 人であり、今年度は方法を変更して実施予定。

B HIV 検査・相談体制の充実

資料「厚生労働省科学研究事業「検査を受ける人を対象としたアンケート」結果」、「相談件数の推移(専門相談を含む)」参照

【質疑応答】

- ・JHC では、金曜日のティーンズルームに検査希望の外国人が来ることが続いていた。大阪市のサイトで金曜日にやっているという情報が記載されているとのことだった。
○対応いただいたことに対する御礼。外国人向けサイトの修正を確認しておく。
- ・外国人は男性が多いのか？
○男性が多い。
- ・資料 9 でプライバシー保護について不満である割合が一定あるが詳細はわかるか。
○なぜ不満かは不明。自由記述を確認しておく。
- ・chotCAST なんばの日曜日の即日検査で受検できない人がいることは課題。
○平成 25 年 4 月より土曜日についても即日検査とし、1 回あたり受検者数は 38.6 件となり、平成 24 年度の 21.6 件に比して増加している。委託先のスマートらいふネットからは、日曜日についても、整理券発行時点では定員に至っていない状況であり、以前より緩和されていると実感しているとの報告があったところ。

- ・保健福祉センターでのキャンペーンの評価と今後の予定は？

○H24 年度の淀川区の検査イベントは受検者 42 人と前年の 16 人より多かった。MSM の割合も 12.2%と増加したが、MASH 大阪の協力のもと広報したことの効果があったものと評価できる。

H25 年 6 月の北区の検査イベントは 20 人であり、周知期間が短かったことが原因ではないかと考えている。今回は広報を派手にやった訳ではない。毎日午前検査を実施していることに加えて実施したため、午後に新しい層を取り込むことができたと思う。やるべきターゲットになるのではと考えている。

- ・北区については 4 月に SaL+紹介いただき、検査件数が伸びているように思う。

○4 月は人が入れ替わる時期。大阪に来た人に検査会場を知ってもらうことが大切。

MASH 大阪としては継続して各区保健福祉センターと広報を行っていききたい

- ・昨年の作業班での御意見を踏まえ、今回は普及ポスターに検査会場を掲載させていただいた。

C 保健・医療・福祉の連携強化

資料「エイズ発症後 HIV 感染を知った症例に関する調査について」参照

D 人材育成及び関係団体との連携

【質疑応答】

・医療機関へのインタビューで、HIV 陽性者に対する一般治療を半数が行っていると記載されているが、実際に診たことがあるということなのか。

○回答いただいた医師の主観によるものであり、医療機関としての回答ではない。

実態としては、コメディカルスタッフの理解が十分得られないなどの理由により、なかなか進んでいない。

- ・陽性と言わずに医療機関を受診している者もいるのではないか。

【追加発言】

・平成 25 年度より抗原・抗体検査に検査方法を変更したが検査は上手くいっているか。

○検査時間が短縮できている。件数増加に十分対応できる。

・HIV 陽性者には薬物依存や自殺企図が多いという報告があるが、こころの健康センターに相談はあるか。

○あまり相談はない

- ・ゲイの人の相談はあるか。

○少ないがある。

- ・セクシャルマイノリティの相談はいかがか。

○あまり相談はない。

・保健師の自主勉強会で SWASH から相談したいという発言があり、今後こころの健康センターとも連携を深めていきたい。